

まほろ

題字 薬師寺 高田好胤師

vol.2

2015

巻頭特集

6月第一例会「まほろばざーる2015」
未来の奈良についてパネルディスカッション

奈良市立一条高等学校 数理科学科 科長

犬伏雅士

×

公益社団法人 奈良市観光協会 専務理事

鷺見哲男

×

NPO法人 なら燈花会の会 会長

中野聖子

×

一般社団法人 奈良青年会議所 第56代理事長

倍巖智洋

徳のこころ

〜輝く人とまちを目指して〜

1月～7月 例会事業報告
奈良 JC メンバーのお仕事紹介



一般社団法人 奈良青年会議所
<http://www.nara-jc.or.jp>

巻頭特集

6月第一例会 まほろばぎーる2015

「未来の奈良についてパネルディスカッション」

奈良市立一条高等学校 数理科学科 科長

犬伏雅士 × 鷺見哲男 × 中野聖子 × 倍巖智洋

公益社団法人 奈良市観光協会 専務理事

NPO法人 なら燈花会の会 会長

一般社団法人 奈良青年会議所 第56代理事長



倍巖 失礼いたします。わたくしは、2015年度、一般社団法人奈良青年会議所理事長を仰せつかっております。倍巖智洋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、三名のパネリストにご参加いただき、奈良の魅力について、お話しをさせていただきましたと思います。まず、奈良の魅力を紹介・発信し続けておられます、奈良市観光協会専務理事、鷺見哲男さんです。つづきまして、奈良の新しい魅力の発信を率先して行い、NPO法人なら燈花会の会、会長並びに、なら国際映画祭の理事を努めておられます、ホテルサンルート奈良代表取締役社長、中野聖子さんです。そして、最後は、先ほど「リニア超電導実験ライブ」にて素晴らしい実験を行っていただきました、現在、高校で教鞭をおとりになられています、奈良市立一条高等学校数理解科学科教諭、犬伏雅士さんです。

はじめに、奈良をよく知り、よく理解していたために、わたくしを含めた舞台上の四名と、会場の皆さまも一緒になって、お話しをさせていただくのが、今回のパネルディスカッションの趣旨でございます。よろしくお願ひします。それではお聞きしたいのですが、奈良の好きどころを持っておられますか、奈良が大好き、少しだけ好きという方、普通だという方、奈良というまちが少し嫌だな、さまざまなお考えをお持ちの方がいると思いますが、奈良のいいところというのは、何がいいところなのでしょう？パネリストの方がたはどのようなお考えをお持ちでしょうか？会場の皆さまも自身に置き換えてお考えください。それでは、パネリストの方、よろしくお願ひします。



鷺見 はい。ですが、海外からの観光客に話を戻すと、先ほど1341万人と申しあげましたが、日本の人口が1億3000万人ですから、日本の人口の1割に相当するくらいの方が海外から来られるわけです。例をあげますと、世界中で一番たくさんの方の海外からの旅行者を受け入れているのは年間約8000万人もの旅行者が訪れるフランスなのですが、フランスの国民は6400万人で、国民の数よりも海外からお越しになる旅行者の方が多いのです。ですので、日本全体でも奈良だけでも、発信の仕方次第で、これからさらに増えていく可能性は非常に大きいのではないかと考えております。

倍巖 まだまだ観光に訪れる方が増える余地はあるということですね。日本の観光という部分で、

鷺見 奈良のいいところという質問ですが、わたくしは、奈良市観光協会専務理事という立場から、奈良の観光という視点から見た考えを中心にお答えさせていただきます。

倍巖 はい。よろしくお願ひいたします。

鷺見 いま現在の奈良の観光は、JR奈良駅、近鉄奈良駅周辺の商店街を中心に、非常にたくさんの方の海外からの観光客がいらっしゃっています。奈良で日々生活されている会場の皆さまもお気づきかと思いますが、信号待ちをしている10



鷺見 奈良にしかない魅力というものは、ひとつは日本の首都であったこと、奈良、京都、東京の3つだけということが言えます。次に世界遺産、奈良市だけではなく、奈良県という括りという、3つもの世界遺産があるのは奈良だけなのです。法隆寺地域の仏教建造物、紀伊山地の霊場と参詣道、そして古都奈良の文化財、東大寺、薬師寺、唐招提寺、興福寺などのお寺がそうです。

倍巖 そうですね。わたくしも奈良の「ならまち」という地域に住み、僧侶という職業をさせていただいている中で、奈良のまちに根付く伝統や文化を守る精神性というものを感じ、また自分自身も守り伝えていかなくてはいけないという気持ちで生活をしています。

鷺見 そうですね。その他にも、春日大社の式年造替も20年に1度、1200年も前から続いていますし、さまざまなものが継続して受け継がれている。こういったところが、私が奈良の素晴らしいところだと考えます。

今後も、守り続けること、受け継いでいくことに対して、寺社仏閣などに携わる方がただで守ればいいというのではなく、我われ観光協会も含めた奈良のまち、市民、全体で守っていく

倍巖 まだまだ観光に訪れる方が増える余地はあるということですね。日本の観光という部分で、

人に7、8人が海外の方で、日本人は2、3人というようなケースも多いです。日本全体だと昨年度、海外から日本に来た人数が1341万人にもなります。また、今年も国の試算によると去年よりも4割くらい早いペースで増え続けている、年間1800万人くらいになるだろうと言われております。日本全体にやってくる人たちが増えた事で奈良のまちにも観光のお客が増え、非常に賑やかになってきています。

倍巖 そうですね。わたくしもそのように感じます。職業が僧侶ということで、お参りで回ってますと、奈良の市街地ではよく海外の観光客の方を見るようになりました。

鷺見 そうなのですが、いいことばかりではなくアメリカの旅行雑誌トラベル&レジャーによると、世界でもっとも過小評価されている都市という特集記事で、全部で26の町が紹介されているのですが、その中に奈良が入っているという事実もあります。つまり本当はもっと評価が高いはずなのに、世界の人が気がついてもらえず、最近ようやく訪れる観光客が増えてきたということであり、またこの記事を逆に考えれば、ま



倍巖 ありがとうございます。観光の観点の奈良、また世界遺産、伝統や文化という観点からのお話しをたくさんいただきました。続いて中野さんが思う、奈良のいいところ、などをお答えいただけますでしょうか？

中野 はい、私はずっと奈良の「ならまち」と呼ばれる地域で生まれ育ち、今も生活しています。「ならまち」と言われるところは、氏神さまが、天神さま、または水室神社さまか御霊神社さま、と氏神さまが決まっているのですが、このすくく小さな神社の神域を、地域の人たちが毎日お掃除をなさって、町の子供達を御稚児さんとして出して、夏のお祭りや秋のお祭りを地道に守り続けている小さなコミュニティが今もなおあるのです。

今、日本全体を見た時に、地元の人たちが、ここまできちんと地元の神様にお祈りを捧げ、責任をもってお祭りを行い、お寺さんの役割を地域でまわしている、という文化が残っているところはかなり少ないのではないかなと思います。この部分をふと考えると、すごいことなのだなと思います。

倍巖 そうですね。成熟した小さなコミュニティがたくさんあるということは、わたくしも近所さまでほしいなとよくわかります。

まだまだ海外からのお客様は増える可能性があるだろうと考えています。

倍巖 奈良の魅力はまだまだ世界に向けて発信しきれていない、ということですかね。わたくしもそれは思うところはあります。他に観光という視点からのお考えなどはお持ちでしょうか？

鷺見 はい。その他には国内旅行・観光の中で修学旅行に目を向けると、奈良、京都という定番から、最近関西の修学旅行も歴史や文化を学ぶデ



さらに中野さんのすこいと思う部分をもう少し掘り下げていただくと、どういった部分になるのでしょうか？

中野 それは、地域のみなさんの顔を見て、子どもたちの顔と名前が認識できて、この土地の恵みに感謝をしながら生きていく人たちが、今もなおこのようにたくさんいるということは、大変素晴らしいことだと考えます。また、このような人とひとの繋がりの積み重ねが、春日大社さまの式典造替の折に、たくさんの方がたが寄進をなさるといったことにつながっていると思います。

倍巖 地域と子供とのつながり、子供たちと共に地域の行事などを行うこと、わたくしも、本年度の所信に書かせていただいている内容が、まさに現実となっている部分です。この奈良のまちのいい部分をさらに広く奈良に、また日本全体に広げていければと考えているのですが、中野さんの考えはどうでしょうか？

中野 そうですね、私はホテルを経営しておりますので、首都圏などの関東圏の方とお会いする機会が大変多いのですが、普段、信仰する行事に携わっておられる方は驚くほど少ないです。逆に長野県や、九州地方、四国地方の方がた、主に田舎といわれる地方都市からお越しになる方は、いくらか親近感のあるお話ができます。

1番人口が集中している関東圏で、日々の方々のつながりや信仰などが途切れていくというのを感じると、私が今朝、天神社さまの夏のお祭りの会議に行ったという、このことだけでも、ものすこいことなのではないかなと思います。

倍巖 そうですか。やはり都市部に近づくにしたがって全体的にわけてはいいのですが、そういった信仰や伝統、文化を受け継いでいくということ、またそういった行事を通して、子どもたちと共に学び育まれる、本年度、わたくしが伝えたい共育、というものが失われつつあるのかと思うと、さらに我われは運動を起し続けたいと思っています。



門前まち会員会議所連盟
5月臨時総会
奈良会議



なら瑠璃絵



新年挨拶回り



第1回入会候補者
オリエンテーション



2月第一例会
「通常総会」



春日大社
公式参拝



高田都耶子氏
講演会



2月第二例会
「会員拡大例会」
～危険存亡の秋、
今なら間に合う、全員で会員拡大～



1月第一例会
「入会式」



7月第一例会
「入会式」



特別会員との
懇談会



1月第二例会
「新年会」



7月第二例会
「近畿地区大会
草津大会」



奈良ブロック
意見交換会



門前まち会員会議所連盟
京都総会



サマーコンファレンス



鬼追式



京都会議

美味しいですよとか、そんな話しても私はいいと思つています。自分の好きな奈良っていうのを1つずつ見つけていっていただきたいな。それだけをお願い申し上げたいと思います。

信蔵 驚見さんがどうですか。そうですね、自分の好きなところ、場所があるというのは、本当にその場所がまた自分の心の拠り所になってくるし、そういうところや場所を持っているというのは非常に大事なことがあるのではないかと思います。では、続いて中野さんよろしくお願ひします。

中野 はい。いまこの現代社会では、色々な知識を吸収するためのツールがあり、また本やドラマ、映画、などからもたくさん情報を得ることが出来ます。

倍蔵 そうですね。今の時代では、さまざまなツールから、取るうと思えばいくらでも情報や知識は入ってくる世の中です。けどやはり知識だけではなく、実際に体感することというのは非常に大切で、これから未来を担う若い世代には体感だけではなく、その中心となってやっていってほしい、ということでしょうか？

中野 そうですね。今、私たちが開催させていただいている新しいお祭りである、なら燈花会やなら国際映画祭、どれも皆さん本当に心を込めて作っていますし、また本当に歴史のある伝統行事の数々は、そこに参加しているだけで実感として体感として自分の経験として身に付くことというものがたくさんあります。参加しているうちに後で考えてみたら、あ、これあの歴史の教科書に書いていたこの事か、とか、奈良公園歩いている時に、あ、ここひょっとして聖武天皇が歩いていた場所と同じ所を歩いているのかな、とかそういう実感をぶっと湧き上がる瞬間

がありまして、このような実感ができるくらい奈良って素敵な場所だと思うのです。

信蔵 そうですね。歴史を紐解くと、ほんとに奈良という場所の歴史の深さに、声も出ないくらいになってしまいます。

中野 はい。昔の地形がそのまま残っている場所というのは珍しいと思うのですが、私は、特に飛火野のあたりから三笠山の上に朝日が昇っていく、そして、二月堂から夕日が落ちていくのを見るのが大好きなんです。そして、多分この天体の様子や歴史的な建造物と、そしてそこに佇む奈良の自然というのは多分もう数千年も同じで変わらない景色なのではないだろうか、というふうなイメージが湧いてくるような場所にいると、その景観の中に身体が一体化して、時間軸のないような気持ちになるんです。このような感覚、奈良独特の呼吸ができるような人に皆さんなっていたらいいなと思います。以上になります。

倍蔵 はい、中野さん、ありがとうございます。奈良に住んでいても、なかなかそこまで奈良に馴染み、親しみの中で生活をしている方は少ないのではないかと思います。素晴らしいお話を聞きました。わたくしも今度、朝日を見に行こうかなと思つきました。それでは犬伏さんはいかがですか？

犬伏 子どもたちのメッセージということで、驚見さんも中野さんもおっしゃっていたのですが、私は、横で聞いていて、胸が苦しい思いでした。子ども達にも教える立場の私たちがもっと頑張るって子ども達にそういったことを伝えてくださいよ、というメッセージなのかな、というふうに承りました。

倍蔵 これからも全力で子ども達にもっと上手く奈良らしさを伝えていけるような仕組みを考えていきたいと思います。

倍蔵 ありがとうございます。是非、生徒さん上手く伝えていける手法を生みだしていただけたらなというふうに思います。

らなというふうに思います。

信蔵 私です。他にも好きなものはたくさんありますけども、近鉄電車の西大寺の駅から出発して新大宮の駅にかかる車窓の風景。ひとつだけというのであれば、その風景ですね。私は奈良に来て3年で、東京に長くいたのですが、昔、奈良に来たときに近鉄特急乗って西大寺を出ると、あ、奈良に来たな、といつも思っていました。中には、平城宮跡の真ん中のあるところに電車が走るのはいくらも、という方もいらっしゃると思いますが、私はいまあの景色がすごくいいなと思つています。

中野 好きな奈良ということですが、私は、興福寺さんの南円堂の鐘の音でいいの、日々の暮らしを営んでおります。朝の6時、昼の12時、夕方の6時の鐘の音が聞ける環境にほぼ毎日おりまして、鐘が聞ける範囲にいます。安心感があるというか、鐘が聞こえる範囲にいる間、私がかたえ何か大怪我をしたとしても誰かが絶対助けに来てくれるだろうし、みんな私の顔を知っているし、っていう地元の安心感があるんです。そういったことから興福寺周辺、特に猿沢池の五十二段あたりが小さい時から原風景でもありますし、私から取ることでできない景色だと思つていて、その中で安心して暮らしております。

倍蔵 はい、ありがとうございます。五十二段もそうですけども、全く変わらぬ景色ですから、私も近くに住んでおりますのでよくわかります。ありがとうございます。

中野 ありがとうございます。近鉄電車が、平城宮跡の真ん中を走っている、昔と景観も大分変わったなと思つても、やっぱりあれも奈良らしいという事でしょうか。ありがとうございます。

倍蔵 犬伏さん、ありがとうございます。わたしも奈良は時間がゆつたりだと思つています。東京などの都会に行く人が歩くのも早いですが、奈良には奈良の体感というか、奈良時間が流れているような気が確かにします。ありがとうございます。

倍蔵 これですべての質問が終了したわけですが、会場の皆さま、最後までお付き合いありがとうございました。奈良に住んでいる方がたがほとんどかとは思いますが、本日のパネルディスカッションを開催させていただくことにより、奈良の未来を作っていく若い世代の方々が、奈良の好きなきなところを考えてみようかな、また、リアアの先の未来の奈良というものを、少しでも思い描いてお時間になりましたので司会にマイクをお返ししたいと思います。ありがとうございます。



犬伏先生いかがでしょうか？

犬伏 景色や雰囲気という、私は飛火野園地が好きです。また、奈良のいいところと冒頭で申し上げましたけども、奈良のいいところはゆつたりと時間が流れていく、これがなんか奈良のいいところかな。この田舎町も同じな感じかもしれませんが、そうやってゆつたりと時間が流れる中でちょっと目を閉じてみると鹿の匂いがしてきて、そしてさらになにか歴史の香がする、そんなゆつたりと時間が流れている、そんな奈良のまがが好きです。

倍蔵 犬伏さん、ありがとうございます。わたしも奈良は時間がゆつたりだと思つています。東京などの都会に行く人が歩くのも早いですが、奈良には奈良の体感というか、奈良時間が流れているような気が確かにします。ありがとうございます。

倍蔵 これですべての質問が終了したわけですが、会場の皆さま、最後までお付き合いありがとうございました。奈良に住んでいる方がたがほとんどかとは思いますが、本日のパネルディスカッションを開催させていただくことにより、奈良の未来を作っていく若い世代の方々が、奈良の好きなきなところを考えてみようかな、また、リアアの先の未来の奈良というものを、少しでも思い描いてお時間になりましたので司会にマイクをお返ししたいと思います。ありがとうございます。

5月第一例会 「天平祭」

5月3日(日)～5月5日(火)に行われた天平祭の開催中、5月3日に行われた天平行列に奈良JCメンバーも一致団結し参画しました。当日は、行列に参加される一般市民の皆様の受付から行列の誘導まで終始運営スタッフとして頑張りました。

行列途中、一瞬雨がぱらつく場面もありましたが、なんとか天気も持ちこたえ無事に終了することが出来ました。



6月第一例会 「まほろばざーる2015」

6月第一例会は、6月28日(日)になら100年会館大ホールおよび時の広場で行われました。大ホールでは奈良県内に誘致が決まっているリニア中央新幹線の技術である超伝導についての科学実験と奈良の未来についてパネルディスカッションが行われました。時の広場ではセグウェイ、バイクバイク、パワードスーツの体験と茶道体験、天平衣装、チームPREドクターズによるパフォーマンス等が行われました。

多くの一般市民の皆様に参加していただき、奈良の良き文化を再確認していただくと共に未来のビジョンを描ききっかけとなったのではないのでしょうか。



3月第一例会 「挑戦」～徳のある輝く人になる～

3月9日(月)に倍巖理事長が副住職を務められている法徳寺において、3月第一例会「挑戦」～徳のある輝く人になる～を行いました。当例会では、月亭一門である月亭方正氏ならびに月亭八斗氏に講師としてお越しいただき、倍巖理事長とディスカッション形式での講演を行いました。また、講演後にはお二方から落語を披露して頂きました。

芸人から落語家へ転身された月亭方正氏の、未知の世界にも果敢に挑戦し、自らを成長させてこられた実体験をもとに、我われ奈良JCメンバーが今後どのように運動を展開していくべきかの良い気付きとなりました。



4月第一例会 「育み、育まれる、おかげさまのころ」

4月第一例会は、4月25日(土)に生駒山麓公園のふれあいセンターならびに野外活動センターで行いました。奈良市・生駒市在住の小学1年生から小学4年生を対象に50名の子ども達に参加いただきました。

午前中は、「いつもここにありがとう」と題して、本年のスローガンである「徳のころ」についてお手製の紙芝居を使って、感謝の気持ち「ありがとう」の大切さについて学びました。

午後からは、野外活動センターに場所を移して子ども達と共にカレー作りを行いました。普段食べている食事が口に入るまでにどれだけの人が関わっているかを実感することで、日々の生活がいかに多くの人の助けの下で実現しているのかということを学んでいただきました。



奈良JCメンバーの お仕事紹介

我われ一般社団法人奈良青年会議所では様々な業種のメンバーが集まっています。
普段、何気なく顔を会わしているメンバーの職業について案外知る機会が少ないように思います。
今回の「まほら」ではメンバーの仕事風景を取材してきました。 (担当：上中)

MORITEC 沖津 繁則

総務委員会 副委員長



我が社では、マンション・ビル・ショッピングモール・工場等の鉄骨の製作・施工、また、耐震工事(「K型ブレース」)や、最近注目されている太陽光発電施設の提案から製作・施工も行っております。
若い会社ならではのフットワークを活かし、各協力会社の皆様と共に、「迅速かつ確実に満足いく」施工を行い、耐震性・耐久性に優れた「鉄骨造」の可能性を追求し、さらに、新しいことに対して、常にチャレンジ精神を持ち続け、従業員共ども、日々仕事に邁進しています。

税理士法人 森田会計事務所 森田 洋平

徳の教育実践委員会
副委員長



税理士法人森田会計事務所は今年創業85周年を迎えました。奈良のまちに密着し、法人税・所得税に関する税務申告はもちろんのこと、付随して発生する資金調達や、次の世代への事業承継、合併等の組織再編といったご相談に幅広く対応させていただきます。
経営者の皆様が安心して事業を継続できるよう全力でサポートさせていただき、皆様に頼られ、愛される会計事務所をこれからも継続して運営していきますので、皆様いつでもご相談お待ちしております。

シンコー看板 見山 高幸

徳の教育実践委員会
委員



シンコー看板 昭和53年に創立。今年で36年を迎えることができました。印刷物・テント・電飾看板・塗装・インクジェット出力・書き文字・カットシート・LED・サインポールなど、あらゆる看板の仕事の立案から製作・施工までを業務とさせていただいております。先代が築き上げてきたお客様や、新しいお客様との信頼関係を深め、ニーズにお応え出来るよう日々努力し、地域貢献できるように目指してまいります。

小路谷写真株式会社 翹谷 展

徳の教育実践委員会
委員



私共、小路谷写真株式会社は昭和9年この奈良市に開業致し、おかげ様で昨年度は創業80周年を無事迎える事が出来ました。写真館としての肖像写真・婚礼写真・集合写真を始め、北は北海道から南は九州・沖縄まで日本全国の観光地・イベントに展開し、各種記念写真を撮影及び販売しております。奈良へ観光へ訪れたお客様のみならず、同郷の奈良の方が観光へ向かわれた際、小路谷の看板を見かけましたら、お気軽にお立ち寄り下さい。

次回「まほら第3号」は、12月に発刊予定です。

奈良青年会議所は、明るい豊かな社会の創造に向けて活動しています。 20~30代の会員を募集しています。

一般社団法人 奈良青年会議所 広報誌「まほら」2015 Vol.2 2015年8月 発刊 通巻448号

発行：一般社団法人 奈良青年会議所

〒630-8213 奈良市登大路町36-2 商工会議所会館4F
TEL. 0742-26-0112 FAX. 0742-23-5519
URL. <http://www.nara-jc.or.jp>

編集：広報戦略委員会

有馬 憲治 (委員長) 鈴木 一生 (副委員長) 上中 一成 (幹事)
池田 泰章 勝山 弘樹 北原 智行 出口 雅也
三瀬 義男 湯脇 大樹